



## はきものをそろえると心もそろう

～さりげない心づかいに見える優しさ～

校長 島野 歩

梅雨の季節です。緊急事態宣言が再延長になる中、コロナ禍の閉塞感に加えての長雨。しかしながら、子どもたちの元気さと勢いは、雨をも飛ばしてしまうほどのパワーです。なんて素敵！

先日の雨の日、2年生の男の子が、傘をさしながら、育てている野菜の様子を見に来ていました。「今日は、水やりしなくていいから、本当は外に出なくていいんだけどね、なんだか毎日見ないと気になるんだ！今日もちゃんと、トマトに挨拶しないとね。」……………

なんて幸せなトマトなのでしょう。トマトの葉っぱが雨に濡れて、一層鮮やかに元気に見えました。雨が心地よく感じた朝のひとこまです。

\*\*\*\*\*

先日、廊下を歩いていて思わず目をみはった光景がありました。1階の図書コーナー前に並べられた上履きが、見事に美しく並べられていたのです。普段から、ぽつりぽつりと置かれている上履きを見るものの、このように一列に並んでいる上履きを見るのは、子どもたちとの宿泊以来、久しぶりでした。そして、きれいな上履きの並んだ先にいたのは、1年生の男の子です。「きれいに揃えるとうれしい！」……お友達の上履きもさりげなくそろえてくれているその姿に思わず「ありがとう」でした。その子の優しさに、たくさんの優しさを分けてもらったような温かい気持ちになりました。

学校生活のひとこま

きれいにそろった

図書コーナーのうわばき

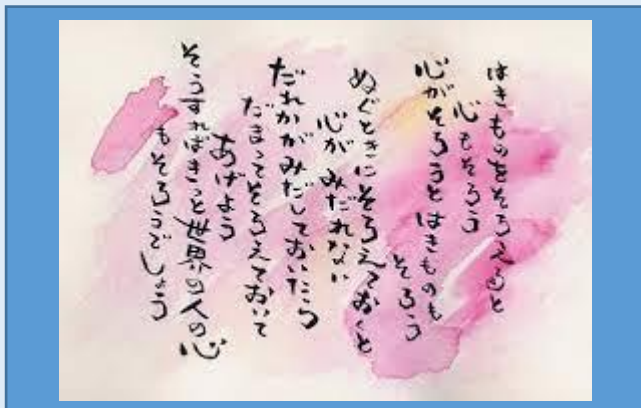


### 「はきものをそろえると心もそろう」

長野県の円福寺：藤本幸邦さんのお書きになられた詩です。

この詩の中にある「心もそろう」という表現が心にささります。

「心もそろう」とは、どのようなことを指しているのでしょうか。自分の靴を揃えることは、自分の行動が他の人をどんな気持ちにさせるかまで考えが及ぶ優しさがあること。穏やかなこと。



新型コロナの厳しい状況の中だからこそ、子どもたちと「心もそろう」日々を大切にしていきたいと思えます。

# 春の「たねやさん」

「たね」はひとつひとつ小さな生命です。

大切に育ててください！

## 「たねやさん」で願うこと

5月10日(月)「春のたねやさん」を開催しました。春まきのたくさんの「たね」たちが、たくさんの子どもたちにもらわれていきました。

「たね」は、それぞれ形も色も全く違います。でも、ひとつひとつ小さな大切な生命。毎年毎年、「先生、たねやさんでもらったカーネーションのお花咲きました！」「菜の花のタネがたくさんできました！」……子どもたちの報告がとても嬉しく幸せに感じます。

「たね」を育てながら、育てているのは、実は子どもたちの心です。なぜなら、小さな「たね」から、花を咲かせるまで、実をつけるまで育てるのは、決して容易なことではないからです。毎日、お水をやったり、様子を見たり、それはそれは、お世話が大変です。何日か、お世話を怠ると、枯れて死んでしまいます。生命だからです。

だからこそ、責任をもって毎日コツコツ こつこつ……この苦労があるから、お花が咲くとうれしい！そして、実がなって「たね」ができると、とびあがるほどうれしい！

この経験は、子どもたちが迎えるさまざまな経験に活かされていきます。粘り強く毎日こつこつあきらめずに積み上げること……とても大切なこと！まさに子どもたちの心に大輪の花が咲くことに通じるのです。子どもたちの成長を、これからも応援しています。



# 6月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
		1 運動会予行	2	3	4 東京地区 教員研修会	5 運動会
6 運動会予備 ①	7 運動会予備②	8 Tokyo Global Gate Way	9 経年変化分析調査 (6年)	10	11 第1回漢字検定試験	12 休業日 運動会予備 ③
13 運動会予備 ④	14	15	16 全校遠足	17	18	19 第2回学校説明会 B時程2時間授業
20	21	22	23	24	25 4年生社会科見学	26 休業日
27	28 避難訓練	29	30 第3回学校説明会 B時程4時間午前中授業			

## 6月の生活目標

**重点目標** 〈文教っ子八ヶ条 第3条 素直な気持ち、謙虚さをもって人に接すること。〉

◎ 場所や天候を考えた遊び方をしよう

◎ 自分の仕事をしっかりやろう

・廊下は右側を静かに歩く。 ・ロッカーの中を整理・整とんする。

・係や当番を責任をもって行う。

◎ 素直な気持ち、謙虚さをもつということ 〈文責：教頭 田中 宏一〉

皆さんの、学校の中での自分の仕事には何がありますか。低学年の人は、学級のかかりの仕事を思い出してみましょう。学級でそれぞれ言い方はいろいろあると思いますが、出欠を書いたり、次の授業の準備を、聞きに行ったりする係や、牛乳の注文を聞いたり、お茶や牛乳を地下に取りに行ったりする係など、たくさんの係の仕事があると思います。一年生のみなさんは、自分たちでするそうじが始まりましたね。学校をきれいにするための自分の仕事はなんですか。高学年になると、学級の係に加えて、委員会という学校全体に関わる大きな仕事も増えてきます。どれも、学校の中で大切な仕事で、うっかり忘れてしまうと、どれも周りの友達が困ってしまうことになります。なので、当番の人が学校をお休みしたときには、代わりの友達がする約束も、決まっていると思います。

ではなぜ、皆さんで係や当番を割り振るのでしょうか。それは『自己存在感』を感じるためです。自己存在感とは、自分は価値ある存在であるということです。あなたは『文教小学校の中で必要な人です。』ということです。みなさん一人ひとり、みんな違いますが、誰一人として、いてもいなくてもいい人はいないということです。全員が必要な人だということを表しています。今月は、自分の仕事をいつも以上に意識をして、自分がいるから、みんなが困らなかつたのだと、感じてほしいと思います。

また、各ご家庭でも『自己存在感』を感じる機会があればと思います。ご家庭で相談していただいて、お子様に、家の中での役割を与えてやってください。お子様自身が家族の中でも、学校のなかでも必要な存在と思える場が増えて意欲的な姿を学校でみせてくれることを期待しています。

